

さようなら また会いましょう

[英語] Good-bye! See you again. [タガログ語] Adyos! paalam na po. [ネパール語] फेरि भेटुला ।

目次

- PHDメッセージ.....1 ●研修生状況報告.....2 ●協会ニュース...4 ●年末特別献金について...1 ●ネパール研修旅行報告...3

PHD運動とは

PHD運動とは昭和37年(1962)より約20年間、ネパール、東南アジアを中心とした発展途上国で医療活動に従事された岩村昇博士によって提唱された国際ボランティア運動であります。

PHD LETTER

No. 6 発行 1983年3月1日

編集発行 PHD財団・PHD協会 〒650 神戸市中央区元町通5-2-3

森毅彦君

初めておたより申しあげます。僕はPHD協会の岩村昇です。



いつもいつも、ほんとうにありがとうございます。インドネシアの切手をここに貼っておきました。おはあちゃんにもお見せしてあげてください!!

毅彦君、優しい心と丈夫な体と、創意工夫の頭と技を身に付けて、インドネシア、フィリピン、ネパールなどアジアのお友達と一緒に平和を21世紀をつくる為に、アジアで働けるよう、今から一生懸命頑張ってください!!

年末特別献金のお礼とご報告

昨年11月に、はじめましたPHD年末特別献金につきまして、全国各地からたくさんの方々が寄せられました。

Table with 4 columns: Region (北海道, 東北, 関東, 信越), Count (3, 14, 89, 16), Region (北陸, 東海, 近畿, 中国), Count (3, 29, 475, 14), Region (四国, 九州, 沖縄), Count (3, 12, 4), Total (合計 662件)

PHD基金寄託の状況

皆様からの浄財につきまして、PHD LETTER 5号につき、ご報告します。年末特別献金は含まれておりません。57年11月1日～58年1月31日 総計 16,337,347円

研修生状況報告

藤野達也

まずは表をご覧ください。ご報告済の日本語特訓、集団生活研修後の研修内容です。

冬場に入り日本の寒さがだいぶこたえているようで「タイヘンサムーイ」を連発しています。

ご覧の通りPHDトレーニングは技術優先の内容でなく幅広く日本の草の根の様子を知り、自国の発展のヒントを彼ら

なりに掴んでもらいたく計画していますが、研修生側にすれば、帰った際の地元の期待が相当なようで、若干のあせりがあるようです。

日本の暮らしには、ほぼ馴れましたが、アマツティア氏を除く3人は湯舟につかりませんし、ネパール組はヒンズー教の関係で牛肉には手を出しません。

消化日程表

Table with columns for dates (57年10月, 11月, 12月, 58年1月, 2月) and activities (兵庫県丹南町, 和歌山県有田市, 広島市, etc.)



収穫即試食(和歌山) 57.11 Harvest and taste (Wakayama pref.)



豆腐づくり(広島県農業者大学校) How to make TOFU (Hiroshima prefecture agricultural college)

☆ 研修生は昨年12月に広島にゆき原爆資料館を見学してその感想文を寄せてくれましたので訳文でご紹介いたします。

C.パニサレス はじめ私は、原爆で全体に大被害をうけていると思っていました。広島に到着して街が美しいのに驚きました。

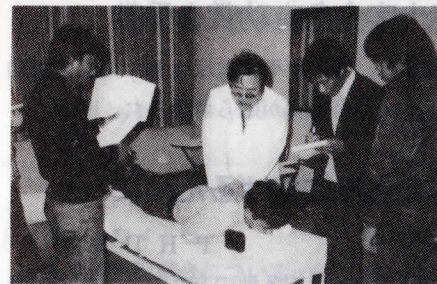
B.ピスタ 私は、ネパールの本で広島に原爆がおちたことを読みました。広島に来てたくさんの方々の展示を自分の目で見て私の心はいたみました。



Pray peace development (Hiroshima Peace Memorial Park)

M.ロサーナ 第2次世界大戦中、原爆がおちた広島を見るのはこれが初めてです。資料館の中でテープレコーダーで原爆の被害の説明を聴き、また犠牲者の写真を見、驚きかたつこわりました。

B.B. アマツティア 日本に来る以前、ネパールで第2次世界大戦で広島に原爆がおとされた映画を見、また私が小さいころ広島と長崎に原爆がおとされたことをきいていました。



指圧教室 背骨編  
(アジア保健研修所) 58.1  
Special program "Acupressur"  
(Asian Health Institute)

従来の留学・研修制度には乗れなかった草の根の非エリートの方の研修ということで、お世話する方は試行錯誤の繰返しですが、お邪魔する先々で逆に彼らから学ぶことが多く彼らと触れ合うことにより、新しい視野がひらけると思います。これからの予定も載せましたが、第1期生の予定外の地域の方々には2期生以降、是非お招き頂きたいと思ひます。

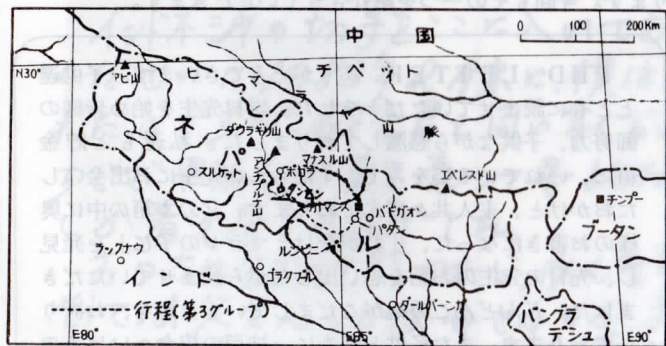
＝ 今後の予定表 ＝

	B.アマツティアさん	B.ビスタさん	M.ロサーナさん	C.パニサレスさん
3月	原氏宅 養鶏	渡辺氏宅 養鶏	一時帰国	愛媛県水試
4月	岐阜県各務原市 岐阜県種鶏場 (青年海外協力隊OBの紹介)		溝口氏宅 稲作	兵庫県水試(予)
5月	<4人合同> 兵庫県加古川市いなみの学園 原氏宅 野菜	渡辺氏宅 野菜	葉草実習 溝口氏宅	滋賀県水試(予)
6月	ロサーナさんを除く3人 東京見学 2泊3日予定 <4人合同> 兵庫県篠山町たんば農文塾 総まとめ合宿			
7月	帰国準備	HIC滞在		
	帰国	日本で学習したことの実践←4年間フォロー・アップ ネパールとフィリピン		

PHDネパール研修旅行  
(1982)報告

内山三郎

昭和57年12月10日より10日間の日程で、PHDネパール研修旅行を実施しました。参加者は女子3名、男子8名の総勢11名で、年齢は22才から62才までの学生、社会人よりなるグループでした。昨年に引き続き2回目の人が2人ありました。最年長の、多紀郡丹南町で有機農業経営をされている原久一さんは、現在ネパールからのPHD研修生アマツティアさんのホスト・ファミリーで、昨年に続いて2回目の参加でした。



旅行中、事故や病気の人もなく、予定どおりの日程を順調に終ることができましたことを一同感謝しております。

ネパールで11人皆が共に参加した行事は、次年度PHD研修希

PHDネパール  
研修旅行に参加して

南田慶治

このたびの旅行で一番感じました事は、ネパールの人々の素朴さ純朴さです。確かにネパールではまだまだ物質的に恵まれず病気も多い様ですが、それ以上に文明に毒されていない大自然と人々の心がありました。文明が進んで何か大切なものを忘れて来た日本と、それが進んでいなくても大切な「モノ」を持っているネパールと、いったいどちらが幸せかとも考えさせられました。ネパールの人々の大自然に囲まれて、朝から晩まで重労働をする姿や、すなおな表情やきれいな目、それに神様への祈りの姿勢等は忘れられません。カースト制の問題と共に西洋文明を上手に選んで取り入れて行く事がネパールのこれからの課題だと思ひました。



PHD研修(1983)希望者の氏名、年齢、研修内容  
List of 12 candidates of PHD trainees in 1983

- Ms. Makjamali Bista(21) [農業]
- Mr. Rajendra Shrestha(21) [ソーシャル・ワーク]
- Ms. Radha Devi Banstola(38) [手芸]
- Mr. Kali Charan Parajuli(26) [農業]
- Mr. Samba Mehar Kayastha(30) [プライマリ・ヘルス・ケア]
- Mr. Keshar Narayan Shrestha(33) [農業]
- Mr. Ramjee Gautam(19) [保健衛生]
- Mr. Faiyar Ansari(19) [農業]
- Ms. Saraswate Banepali(30) [保健教育]
- Mr. Bil Buard(39) [家畜衛生]
- Mr. Bisno Adicari(29) [農業]
- Ms. Srijana Sahi(33) [手芸]

望者との面談会、母の会や、おかあちゃんホームへの訪問などでした。ネパールでの、なか6日間は、11人のメンバーそれぞれの希望によって、三つのグループに分れて行動しました。(1)カトマンズ、パタン市内でのホーム・スティ研修(1名) (2)パフニパチ、マハンカラでの現地研修(4名) (3)ポカラ、ノーダラ、タンセン、ナランガイの各地でのホーム・スティと学習(6名)の3グループです。



ナラヤニ・ホテルでのPHD研修(1983)希望者との面談  
Group interview for PHD candidates in 1983  
(Dec.19, 82. Narayani Hotel).

ネパール国内の広い範囲にわたって短期間にいろいろな事柄を学び得たこと、ホーム・スティ先及び近隣の人々との親睦・交流がもてたことなど、他の旅行では体験しえない意義深いPHD研修旅行であったと思ひます。

お世話いただきましたネパール結核予防協会、ネパール家族計画協会、母の会の皆様にお礼の言葉を申し上げます。神戸・カジトラベルさんのご好意で参加費用は1人あたり往復渡航費、宿泊費、交通費等合計23万円の各自負担ですみました。

なお、詳しくは、4月下旬発行の「いれぶんネパール」をごらんください。

協会ニュース



§ PHDバザーのお知らせ

「国際ソロプチミスト神戸」の御好意により第13回チャリティバザー会場の一角をお貸りしてPHDバザーをすることになりました。ぜひお出かけ下さい。

とき 3月30日(水) AM11:00~PM3:00

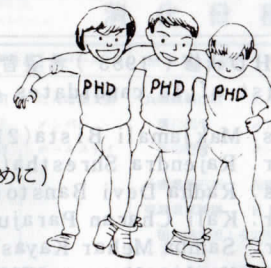
ところ ポートピアホテル地下1階宴会場

・三宮駅よりポートライナー市民広場下車

入場料 500円

PHDとしての出品物

- ・トレーナー
- ・Tシャツ
- ・カバン
- ・岩村先生著書(共に生きるために)
- ・ネパール絵ハガキ
- ・ネパール手作り品



§ いれぶんネパール写真展……PHD現地研修旅行から……開催のお知らせ

昭和58年3月11日(金)より23日(水)までの2週間、神戸三宮そごう店5階で、神戸新聞社、そごうのご協力でPHD協会主催で開催されます。11人の研修旅行メンバーが見たネパールは、どんな国だったのでしょうか。

§ いれぶんネパール……PHD現地研修旅行記……刊行のお知らせ

4月下旬に、神戸新聞出版センターより発行されます。予価千円未満。本屋でも買えますが、直接PHD協会でも扱います。内容は岩村昇先生の序文に続き、タイバ村にて(芦田)マハンカラ行(原)ネパールで思ったこと(井筒)私のネパールの旅(金近)山のある風景(前田)ナマステ・ネパール(増岡)ネパール旅行報告(南田)ネパールを旅して(森田)ネパール研修旅行に参加して(中西)ネパールでの心象(笹口)タンセン素描(内山)などです。

§ PHDネパール展

とき 5月以降未定

ところ サンチカ・インフォメーション・ギャラリー

予告 新聞紙上などでお知らせいたします。

§ アジアを知る……映画貸し出しのお知らせ

昨年12月、東京シネ・ビデオ(株)より「バングラデシュの大地」(16mmカラー・45分)1巻の寄贈を受けました。本作品は1971年のバングラデシュ独立から今日までを海外協力特に日本からの協力を通して描いたものです。バングラデシュの実情を理解し、住民への協力のあり方を把握し、広く国際性の啓蒙に役立てることを目的として製作されています。55年度芸術祭大賞をはじめとして数々の賞を得ている本作品を、従来の「世界の屋根のひげドクター」同様ご活用下さい。

申込先: PHD協会

料金: 無料、但し送料はご負担願います。

その他お問い合わせはPHD協会までどうぞ。

§ 岩村先生日本赤十字金色有功賞を受賞

去る昭和57年12月2日、赤十字事業に尽された格別の御功労に対し日本赤十字社より金色有功賞が贈られました。

§ PHD運動の輪をさらに広げるために

PHD協会

PHD運動の趣旨に賛同される全国各地の方々のために、PHD協会としては積極的にバック・アップ、資料提供などをすることになりました。現在、居住されている地域でPHD運動の推進役となってくださる方とPHD協会はより強力な連けいを保ちながら、具体的な実践活動をしようとするものであります。

PHD運動の具体案、アイデアなどおもちの方は、ご遠慮なく協会あてにお便りをください。PHD協会はお問合わせに対するご返事と資料等を差しあげます。

PHD協会・社会活動部

〒650 神戸市中央区元町通5-2-3

甲南サンシティ元町 711号

電話 078-351-4892

§ おたより紹介

PHD事務局に寄せられるおたよりの数々は大切に保存しております。今回もその一つを紹介させていただきます。

PHD LETTER ありがとうございます。子供達とともに読ませていただきました。岩村先生を始め皆様の御努力、子供ながら感激しておりました。私達もと貯金箱に、いれている姿をみて、すばらしい先生にお出合いしたおかげと、主人共々喜んでおります。父の本箱の中に奥様のお書きになった、「わが愛はヒマラヤの子に」を発見し、先日の先生のお話を思い出しながら読ませていただきました。どんだんこの輪がこたましていくことを、お祈りしております。また子供とともに、神戸の協会へいけるのを楽しみにしております。はやく一杯になればいいのにと三人の娘たちは私以上に楽しみにしてる様子です。先生お身体をお大切にがんばって下さい。

兵庫県 大江 雅子・亜希

§ PHD基金箱設置のお知らせ

全国チェーン、ファミリー・レストラン「大同門」様よりPHD基金箱設置のお申出があり、プラスチック製(グリーン地、白文字、20センチ立方)3個をお届けしました。設置ご希望の方は協会までお問合わせください。

